

## 令和4年度 宮教研連 教師力向上セミナー

### 1. 研修の目的

- 県下の教職員（講師・教師を目指す大学生を含む）を対象とし、本県教育を支えるための教師力向上（主に教科指導力等）を高める研修を通して、本県教育の課題解決に寄与できる判断力、行動力をもった教師を育成する。
- 新規採用や若手教職員、非会員にも積極的に参加を促し、教職員の情報交換や交流を促進し、縦・横のつながりを深め、本県教育がより発展するための研修の場とする。

### 2. 主催：宮崎県教育研究連合会

### 3. 後援：宮崎県教育委員会

### 4. 年間実施計画（予定）

回	日時	会場	講師	研修内容・備考
1	4月23日(土) 10:00～12:00	オンライン 主会場:校長会館	耒住祐子氏 (宮崎小・講師)	国語科の授業を中心とした各教科への横断的な指導について
2	10月29日(土) 13:30～15:45	西諸県地区	未定	未定
3	R5年 1月14日(土) 13:30～15:45	日向地区	未定	未定

### 5. その他

- \* 教師力向上を掲げた研修として、学級経営や教科指導、特別支援、道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間等に関わる研修を行う。
- \* 宮崎・西諸・日向等の各支会との連携も検討したい。  
(令和2・3年度の予定地区で実施できなかったため、今年度実施の予定)
- \* 非会員にも広く周知し、会員獲得にもつなげたい。
- \* 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえて、Zoomなどを活用したオンライン研修会の開催を検討する。
- \* 会場での研修会を録画し、編集して、後日、オンデマンド配信する。

## 令和4年度 宮教研連 スクール・マネジメント研修

### 1 研修の目的

- 管理職や中堅職員を対象として、本県教育の課題解決に繋がる研修を行い、学校の機能強化に資する判断力や行動力をもった教師を育成する。
- 様々な分野から講師を招いた研修をすることで、会員の見識が広がることを期待し、資質の向上を図る。
- 学校経営、管理、教育法規等、スクールマネジメントに係わる研修を行い、情報交換や交流を促進し繋がりを深めることで、次世代のリーダーとなるべき人材の育成を図る。

2 主催：宮崎県教育研究連合会

3 後援：宮崎県教育委員会

### 4 年間実施計画（予定）

回	日時	会場	講師	研修内容・備考
1	6月25日(土) 13:30~15:45	県教育研修センター	梶木 満 宮教研連事務局長	スクール・マネジメントの基礎・基本
2	7月23日(土) 13:30~15:45	県教育研修センター	未定 (大学関係者・県教委OB等)	学校経営の課題等(仮)
3	11月12日(土) 13:30~15:45	宮崎市内 (未定)	未定 (企業経営者・有識者等)	DX推進(仮)

### 5 その他

- \* 民間企業等で活躍する人物や有識者(大学教授、県教委OB等)を講師に招聘し、参加者に充実感を味わってもらうようにする。
- \* スクール・マネジメント研修には、参加を希望する一般会員も参加できる。
- \* 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえて、Zoomなどを活用したオンライン研修会の開催を検討する。
- \* 会場での研修会を録画し、編集して、後日、オンデマンド配信する。

## 令和4年度 第8回「宮教研連のつどい」実施計画(案)

令和4年4月12日

### 1 趣旨

- (1) 創設以来半世紀以上の歴史を踏まえ、新たな気持ちで会員の所属意識、及び、会員としての自覚と誇りを一層深める。
- (2) 会員各位が教育専門職であることの誇りと自覚をもつとともに、宮教研連会員であることの所属意識を高める場とし、研修を通じて本県教育の充実と発展に寄与する。
- (3) 研修を通して、日々の教育実践に生かせる情報を得ることで、教師としての資質向上に資する一助とする。
- (4) 全県の会員で研修を行うことにより、本部と各支会及び各支会間の連携強化と会員相互の連帯を深める機会とする。

2 主 催 宮崎県教育研究連合会

3 後 援 宮崎県教育委員会 (予定)

宮崎県市町村教育委員会連合会 (予定)

全日本教職員連盟 (予定)

4 協 賛 公益財団法人 日本教育公務員弘済会宮崎県支部 (予定)

日本教育文化研究所 (予定)

5 テーマ 「子どもたちは、未来の作り手！」

6 期 日 令和4年8月27日(土)

7 会場等 主会場：宮崎グリーンホテル（宮崎市大橋2丁目36-1 電話：0985-22-1121）

及び、Zoomによるオンライン開催

<https://zoom.us/j/99591017258?pwd=REdscXZOR1pDamlvUlhERHJDeVhvdz09>

ミーティング ID: 995 9101 7258

パスコード: 062173

### 8 日 程

	12:30	13:00	13:20	14:15		16:30	
		13:15	14:00			16:15	
	受付	開会行事	移動	研究発表	休息	記念講演 講師(予定)：元兼 正浩 氏 九州大学大学院 教授 演題「未定」	閉会行事

12:30～13:00 受付

13:00～13:15 開会行事 開会の言葉  
あいさつ  
祝辞

13:20～14:00 研究発表 発表(20分)  
質疑・協議(20分)

14:15～16:15 記念講演 講師紹介  
講演・質疑  
謝辞

16:15～16:30 閉会行事 閉会の言葉  
諸連絡

講師(予定)

元兼 正浩(もとかね まさひろ) 氏  
九州大学大学院 教授  
人間環境学研究院 教育学部門  
専門 教育社会計画学

第7号議案（7-③）

9 分科会

	テーマ	発表者	研究主題・副題
第1	学習指導	延岡市立一ヶ岡小学校 鷹巣 真宏 教諭	思考力・判断力・表現力を育む算数科指導の在り方 ～対話的な学びの充実を意識した授業改善を通して～
第2	道徳教育	日南市南郷中学校 齋藤 秀一 教諭	豊かな人間性をもち、 自己の生き方を考えることができる生徒の育成 ～道徳科授業の工夫と 地域素材を生かした体験活動の実践を通して～
第3	情報モラル	都城市立南小学校 原 圭史 教諭	1人1台端末環境に向けた情報モラル教育の在り方 ～全教育活動における指導と 1人1台端末のよさを生かした指導の在り方～

※申込時に、来場参加者から希望（第1・第2希望）をとり、事務局で振り分ける。

10 会場



※ 会場利用計画

内容	会議室	収容人数	想定人数	時間	備考
全体会	大会議室	シアター形式 90名	60名	12:00～17:00	PC、PJ、SCR、 マイク
第1分科会	大会議室	スクール形式 74名	20名	13:20～14:00	
第2分科会	第1中会議室	スクール形式 30名	20名	13:20～14:00	PC、PJ、SCR
第3分科会	第2中会議室	スクール形式 18名	20名	13:20～14:00	PC、PJ、SCR
控室・事務局	第3中会議室	会議形式 18名	5名	12:00～17:00	

※ Zoomによるオンライン参加 最大40名（最大100名）総計100名

※ 機器 PC：パソコン、PJ：プロジェクタ、SCR：スクリーン

PC：4台 全て持込。

PJ：2台 会場の備品を2台借用し使用。他2台は持込。

SCR：4組 大会議室は会場常設のSCRを使用。中会議室はホワイトボードを使用。

11 役割分担

係	業務	担当者	備考
総務・渉外	全体計画	永井・坂元・大脇	祝辞依頼：永井
企画	講師・研究員打合せ、進行台本	大脇・津曲	
会場	連絡調整	大脇・坂本・新井	
広報	チラシ、広報	秋岡・星原・柳井田	
ICT	機器持込、準備、テスト	興梠・谷口・西脇	
会計	予算管理	榎木	

# 令和4年度 宮崎県教育研究連合会研究員制度

令和4年2月19日

宮崎県教育研究連合会研修部

## 1 目的

- 宮教研連の活動の中核となる研修活動の充実を期して、毎年発行する研究紀要における紙上発表や、本部・各支会等の研究発表大会における研究発表等を通して、研究成果の普及を図り、会員の力量の向上に資する。(後援:宮崎県教育委員会)

## 2 研究員制度

- (1) 研究員：4名（4支会から各1名(1グループ)を出す。残りの4支会は次年度。)
- (2) 研究期間：2か年の研究期間（実質1年半）とする。

R 2		R 3		R 4		R 5		R 6	
宮崎 西諸 向日 西白杵		研 研 究 究 紀 発 要 表		宮 崎 西 諸 日 向 西 白 杵		研 研 究 究 紀 発 要 表		宮 崎 西 諸 日 向 西 白 杵	
		都 北 延 岡 南 那 珂 西 都 児 湯		研 研 究 究 紀 発 要 表		都 北 延 岡 南 那 珂 西 都 児 湯		研 研 究 究 紀 発 要 表	

- (3) 研究体制 県本部からの研究支援体制の拡充

- ・ 研究員1年次には、必要に応じて県教委指導主事や大学教授陣等のサポートを受けつつ、支会主導で研究を推進し、より質の高い研究を目指す。
- ・ 1年初旬に研究論文（未完成でも可）を提出いただき、半年掛けて十分に練った上で、2年次6月を目処に、教研大会発表資料として製作する。
- ・ 発表者は、「検討会」（3回実施）において、発表準備（報告書推敲とプレゼン検討、発表練習等）を行う。1年次研究員は、3回のうち、いずれかに参加し、研究の参考とする。

### <県本部研究推進組織>

役割	仕事内容	分担者
統括責任者	統括と助言	会長
責任者	連絡・調整	本部研修部長・副部長
研究者・発表者	研究・発表	研究員・発表者
協力員	研究への協力 資料準備等	本部役員、支会役員、前年度発表者、その他

※ その他の協力員とは、発表者及び会長が研究推進のために必要と考える人員で、人数に制限はしない。各支会で、研究員とともに取り組める人員を確保する。本部の研究会等への出席の際の旅費は、本部で負担する。

## 3 研究に係る費用について

- 旅費(代表委員会と研究員研究会の出会い)は、できる範囲内を本部で負担する。
- 研究助成金を1万5千円(個人もグループも同額)補助する。

## 4 研究内容について

- 個人研究またはグループ研究とし、研究内容については下記の方向性を踏まえたもので、今日的な教育課題に即応したものとする。
- 教育研究全国大会での提案(下記)を視野に入れた研究とする。(令和5年度に改訂予定)

第7号議案 (7-④)

- 過去に発表したものは該当しない。校内研究をもとにして、研究主題等を個人やグループで新たに設定したものは可とする。
- 例年、研究領域が教科指導に偏るため、全国大会を視野に入れ、集中しないよう調整する。
- ※ 「健康教育」には 体力向上面(体育指導)の側面もある。
- ※ 該当する研究内容がない場合は、過去に該当内容を研究した会員に依頼したり、支会に依頼して研究プロジェクトを立ち上げたりして取り組む。

理念 美しい日本人の心を育てる	主題「新しい価値を創造する力を育む教育の実践」(R2~4) ～自らの考えを広げ、深める子どもの育成を通して～
研究内容	学習指導A 我が国と郷土の歴史や伝統・文化への理解を深める学習指導
	学習指導B 学びの連続性の中で、確かな資質・能力を育む学習指導
	道德教育 道德科を要とする豊かな人間性を育む心の教育
	健康教育 「食育」「保健」「体育」を通じた生活習慣の改善を図る教育
	学校マネジメント 学校における働き方改革の達成と「社会に開かれた教育課程」の実現
	特別支援教育 個に応じ、能力を伸ばす特別支援教育

### 5 研究員研究の進め方について

日程	行事	R3期	R4期
R4.4月		研究論文検討(本部) (全国大会等発表への準備)	研究員報告(4/15まで)
R4.5/21(土)	第1回研究会 (全国大会提案検討会)	プレゼン内容検討 (全国大会等発表への準備)	制度の趣旨や研究の進め方、論文の書き方等の説明 主題・副題・仮説・研究内容・研究計画の検討
R4.5/28(土)	代表委員会	研究員の紹介	研究員の紹介
R4.6月		研究要覧発行 準備	
R4.6/25(土)	(全国大会提案検討会)	(全国大会等発表の最終確認)	「研究計画書」提出
7月	研究会(支会)	研究発表準備	研究の方向性・内容・研究方法等の検討・修正、決定
R4.7/30(土)	教育研究全国大会	大会参加(研究発表)	大会参加
R4.8/27(土)	宮教研連のつどい	研究発表	大会参加
9~12月	研究会(支会)	論文のWeb公開	研究経過中間報告(研修部長より連絡)
R5.1月			全国大会発表者決定
R5.2/18(土)	第2回研究会 (支会長会終了後)		研究論文仮提出(未完でも可) 研究論文の内容検討
R5.3月末	研究論文本提出		
R5.4月	全国大会提案検討会		研究論文検討(本部) (全国大会発表への準備)
R5.5月	第1回研究会 全国大会提案検討会		プレゼン内容検討 (全国大会発表への準備)
R5.6月	全国大会提案検討会		全国大会発表の最終確認 研究要覧 発行
R5.8/5(土)	教育研究全国大会 (宮崎大会)		研究発表(代表の1・2名)

R4.6/25(土)までに「研究計画書」を提出  
提出先 [jmkc@miyakyoukenren.sakura.ne.jp](mailto:jmkc@miyakyoukenren.sakura.ne.jp)  
宮教研連本部事務局 宛て

宮教研連 研究員担当 本部研修部長  
事務局連絡先 電話 0985-27-4508 / 070-5416-0833  
[jmkc@miyakyoukenren.sakura.ne.jp](mailto:jmkc@miyakyoukenren.sakura.ne.jp)

## 宮教研連・デジタルアーカイブ事業

### 1 目的

宮崎県では、すでに、教職員の大量退職期入っており、毎年、多くの教職員が学校現場を去っている。退職後も再任用等、ベテラン教師が現場に残るケースもあるが、任期には限りがある。一方で、非常に多くの教職員が学校現場に採用されている現状があり、長年に亘って培われてきた無形の教育資産が急速に失われることが危惧される。

そこで、宮崎県教育研究連合会では、本会の特徴でもある、幅広い教職員層から構成されているという特徴を生かし、長年培われてきた無形の教育資産をアーカイブとして残していく事業に取り組むこととした。

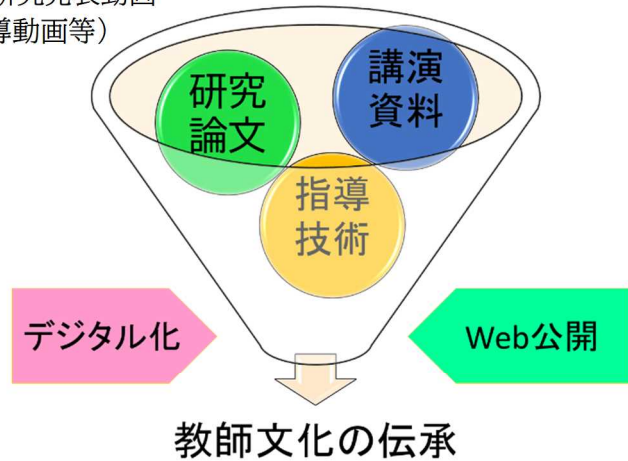
- 指導技術や研究内容など、宮崎県教職員の教育財産を蓄積し、公開することにより、次世代の教師へ引き継いでいく。
- 大幅な世代交代の時期にある今、研究論文等の教育資産を、OJTやOFF-JT等で活用し、若手教職員の資質向上に資する。

### 2 事業内容

以下の教育資産をアーカイブし、ホームページ等で公開していく。

- 本会主催の研修会(過去の分も含む)の講演・講話の動画、資料等
- 本会研究員(過去の分も含む)の研究論文、研究発表動画
- 優れた教師の指導技術やノウハウ(資料・指導動画等)

### 3 デジタルアーカイブイメージ図



Let's Learn !

宮教研連アーカイブ  
好評 公開中!



あなたの困り感を解消します !

授業を変えるヒント満載 !

管理職を目指す先生方にも !

会員限定  
コンテンツ

※一部、一般公開もあります。

過去の研修の動画・資料などを  
アーカイブして、公開しています

★教師力向上セミナー

/ST: 未住先生のワンポイントレッスン  
新規採用・若手教員向け (※ ST: スーパーティーチャー)

★スクールマネジメント研修

/管理職試験練習問題  
中堅教員・ミドルリーダー、管理職向け

ご利用には、最初に登録が必要です。まずは  
本会Webのアーカイブのページをご覧ください。

宮崎県教育研究連合会

研究論文等  
続々公開中

https://miyakyoukenren.sakura.ne.jp/

宮崎市西池町9-8 校長会館2階 〒880-0027  
TEL&FAX 0985-27-4508



## 令和4年度 九州ブロック会議 実施計画(案)

令和4年4月12日

- 1 主催等 主催:全日本教職員連盟  
主管:宮崎県教育研究連合会
- 2 目的
  - (1) 全日教連加盟の団体が地域毎に集い、情報収集を通して地域の実態を踏まえた諸活動の意見交換を行い、組織の強化・拡大を図る。
  - (2) 原則として、全日教連行事に参加したことがない会員を参加対象とし、全日教連諸活動や組織の存在意義に対する理解を深める。
  - (3) 全日教連役員と各单位団体相互の交流・連携を密にする。
- 3 日時 令和4年12月10日(土)13:00から 11日(日)12:00まで
- 4 会場 10日(土) ホテルメリージュ  
宮崎県宮崎市橘通東3丁目1-11 TEL:0985-26-6666  
11日(日) 宮崎県教育研修センター  
宮崎県宮崎市阿波岐原町前浜4276-729 TEL:0985-24-3122
- 5 参加者 25名(主管団体10名、他団体15名) ※11日の記念講演には、宮教研連一般会員の参加を行う予定。
- 6 日程 【12月10日(土)】  
13:00～ 受付  
13:30～13:45 オープニング  
13:50～14:10 開会行事(国歌斉唱・全日教連の歌斉唱・全日教連代表挨拶・主管団体代表挨拶)  
14:10～14:30 研修Ⅰ「中央情勢報告・全日教連組織理解等」  
14:50～16:20 研修Ⅱ 研究発表2本・協議  
16:30～17:00 会議「各県からの報告」(各府県の状況・情勢報告)  
17:00～17:15 諸連絡  
18:00～20:00 情報交換会  
【12月11日(日)】  
9:30～9:40 諸連絡  
9:40～11:15 研修Ⅲ 記念講演(演題未定:日本人の心と日本神話に関する講演)(90分)  
講師:大館 真晴 氏(宮崎看護大学・教授)  
11:20～11:35 質疑  
11:40～12:00 閉会行事(全日教連代表挨拶・主管団体代表挨拶)
- 7 経費等 ・全日教連からの補助費、主管団体の経費、参加者からの参加費徴収等による。
- 8 連絡先 宮崎県教育研究連合会事務局 宮崎市西池町9-8 校長会館2階 〒880-0027  
TEL&FAX (0985)27-4508 携帯 070-5416-0833  
E-Mail miyakyoukenren@royal.ocn.ne.jp  
URL <https://miyakyoukenren.sakura.ne.jp/>